

2022年7月29日

SAAJ NEWS RELEASE

国際サステナビリティ基準審議会の 2つの基準書に関する公開草案に対して意見書を提出

公益社団法人 日本証券アナリスト協会（会長：小池 広靖 野村アセットマネジメント CEO 兼代表取締役社長）は、2022年3月31日に国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）が公表した2つの公開草案「IFRS S1号『サステナビリティ関連財務情報開示に関する全般的な要求事項』（S1基準案）及び「IFRS S2号『気候関連開示』（S2基準案）に対して、7月29日に意見書を提出しました。

【意見書のポイント】

- ✓ 我々は、高品質で一貫性と比較可能性を備えたグローバルなサステナビリティ開示基準に対して、アナリストや投資家の緊急の要望があることを主張してきた。公開草案の各提案は、こうした我々の要望に応えるものであり、基本的に賛成する。
- ✓ ただし、あまりに高い開示基準を要求すると、対応できる企業が少なくなり、かえって利用者であるアナリストや投資家に必要な開示情報が得られなくなると懸念する声もあった。例えば、S2基準案で提案されている産業別要求事項については、利用者として有用性と重要性を評価する一方、未だ様々な課題がある上に、現時点では要求事項として設定するだけのグローバルなコンセンサスが得られていないと思われる。
- ✓ このため、我々としては、今回のS2基準案の基準化では「付録B：産業別開示要求」を切り離し、グローバルなコンセンサスの形成に向けて、ISSBと利害関係者が期間を定めて十分に議論し、S2基準の改訂作業として行うことを提案している。
- ✓ こうした懸念を解消すべく、我々はいくつかの改善が必要と考えており、公開草案の各質問に対するコメントの中でも具体的な改善提案を述べている。

【添付資料1】 *Re: Exposure Draft “IFRS S1 General Requirements for Disclosure of Sustainability-related Financial Information”*

【添付資料2】 *Re: Exposure Draft “IFRS S2 Climate-related Disclosures”*

【添付資料3】 公開草案「IFRS S1号『サステナビリティ関連財務情報開示に関する全般的な要求事項』について

【添付資料4】 公開草案「IFRS S2号『気候関連開示』について

本件に関するお問い合わせは下記まで

SAAJ 公益社団法人 日本証券アナリスト協会

電話：03-3666-1200

担当：企業会計第2部長 土谷 敬